

◆5番（南谷清司君）

実質化された人・農地プランについて、農地中間管理機構の活用による地域の農地の面的集約が進んでいないと思われる足近町、小熊町など、羽島市北部のプランの内容についてご説明ください。特にアンケート調査の分析結果や中心経営体への農地の集約に関する方針についてご説明願います。

◎産業振興部長（加藤光彦君）

令和元年、国の人・農地プランの具体的な進め方についての通知に基づき小熊町地区、上中町、竹鼻町をまとめた羽島東地区、下中町地区、桑原町地区につきましては、担い手経営体の後継者の確保状況により、将来にわたって安定的に農地を担うことが見込まれるため、2年度に実質化しているものとみなしました。残りの足近町地区、正木町地区、江吉良・舟橋町、福寿町、堀津町をまとめた羽島中央地区につきましては、営農意向等のアンケート調査を行い、国の定める進め方に基づき4年度に実質化した人・農地プランを策定したところでございます。

実施したアンケート調査を分析した結果、足近町地区及び羽島中央地区では約4割、正木町地区では約6割の農地について後継者のめどがなく、自身で耕作できない農地が発生することなどが課題です。中心的経営体への集約化に関する方針につきましては、引き続き農地中間管理事業などを活用し、中心経営体への農地集積・集約化を推進するとともに、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを検討してまいります。

◆5番（南谷清司君）

この地域計画の目標地図について作成の進捗状況、作成に当たっての課題、その課題への対応方針などをご説明ください。特に農地の集約が進んでいないと思われる足近町、小熊町など、羽島市北部についてご説明ください。

◎産業振興部長（加藤光彦君）

地域計画の策定については、市街化地域である福寿町及び江吉良・舟橋町を除く市内8町を7地域に分け、本年度中に小熊町地域、上中・竹鼻町地域、下中町地域、桑原町地域の4地域を、次年度に残りの3地域を策定する予定です。現在東海農政局や県などの関係機関と策定に向けた調整会議を行うとともに、11月下旬から目標地図の作成に向け担い手農家との話し合いを各地域別に行っております。課題は担い手農家の個々の経営方針や将来の経営意向が異なるため、集積、集約の合意に時間がかかることです。

地域計画は随時更新が可能なため、策定後も効率的な農地利用に向け担い手同士の話し合いを継続してまいります。